

令和元年9月24日
教育政策課**政策トライアル枠予算を活用した教育関係事業について**

新しい施策にいち早くチャレンジして取り組めるよう、各部長の権限において試行的に実施することができる「政策トライアル枠予算」を活用し、以下の事業に取り組む。

その成果を踏まえ、次年度の新規事業立案につなげる。

- 1 福井ふるさと教育フェスタ開催事業【教育政策課、義務教育課、生涯学習・文化財課】** 1, 300千円
児童生徒の学習成果や地域の伝統文化を発表する場を提供するため、「福井ふるさと教育フェスタ」を開催し、ふるさと愛を育む活動を推進します。
事業内容 小学校高学年における「ふるさと体験学習」の発表
伝統文化の発表
実施時期 令和2年2月
- 2 ふるさと学習推進事業【義務教育課】** 1, 048千円
小中学校で行っている地域と進める体験事業の取組みをリーフレットにまとめ、県内に発信することにより、ふるさと教育に対する児童生徒の積極的活動を推進します。
事業内容 公立小中学校の取組みをまとめたリーフレットを作成・配付
発行回数 5回（10月～2月）
- 3 高小連携によるプログラミング教室事業【義務教育課】** 1, 175千円
工業系高校生がプログラミングの出前授業を小学校において実施し、プログラミングの楽しさやものづくりの魅力を小学生に伝えます。
事業内容 高校生によるセンサーやロボットを制御するプログラミングの指導を実施
連携校 県内各地の工業系高校5校と近隣の小学校5校 各校3回
- 4 福井県学力調査データ処理委託事業【義務教育課】** 2, 420千円
福井県学力調査（SASA）について、教員による採点業務の負担軽減や結果分析までの期間の短縮化を図ることにより、速やかな授業改善につなげていきます。
事業内容 簡易な採点、データ処理業務の委託
- 5 特別支援学校における就業に向けた農業体験事業【高校教育課】** 500千円
校外の農業法人等での農業体験実習により、特別支援学校生徒の就業スキルの向上および新たな就業先の開拓を目指します。
事業内容 地域の農場での野菜・果樹の収穫等の体験実習の実施
農園芸に関する技術指導の実施
実施場所 嶺北特別支援学校、嶺南東特別支援学校

- 6 学校に行けない高校生等の自立支援事業【教育政策課】 500千円
教育総合研究所を活用し、不登校等が原因で引きこもりになってしまう高校生等の社会的自立の支援を行います。
事業内容 引きこもりまたは引きこもりになりつつある子どもの把握
自立支援相談の実施
実施場所 教育総合研究所内
- 7 いじめ・不登校対策に向けた弁護士の活用【教育政策課、学校振興課】 1,000千円
学校からの相談に対し、弁護士が法的な側面からアドバイスする相談会を実施するとともに、児童生徒向けのいじめ予防授業を新たに実施します。
事業内容 弁護士による法律相談会の実施
弁護士によるいじめ予防授業、教員向け勉強会の実施
(嶺北嶺南の小中学校、各1校ずつ 計4校)
- 8 未来のトップアスリート育成事業【保健体育課】 558千円
スポーツ能力測定会において運動能力が高い子ども50人(小学校6年生)を選考し、トップアスリートを目指す子どもを対象とした育成プログラム等を実施します。
事業内容 選考された子どもに対し、本格的な競技体験や継続的な育成プログラムの実施
保護者向けプログラムの実施
- 9 ジュニア選抜チーム活動促進事業【保健体育課】 801千円
競技団体による県選抜チームを編成し、その活動を促進することにより、部活動休養日における活動を希望する生徒の環境を整えます。
事業内容 競技団体主導で県選抜チームを編成し、部活動以外の活動の場を創設
- 10 「スポジョブふくい」選手確保促進事業【保健体育課】 498千円
大学3年生時からのU・Iターンの誘導や、スポジョブ選手による福井の魅力発信により、新たなスポジョブ選手の確保を目指します。
事業内容 県外選手による福井での活動(出身高校の練習への参加や企業訪問)を支援するため、交通費・宿泊費を支給
U・Iターンを行ったスポジョブ選手が母校等に出向き、県外選手へ福井の魅力等を発信するため、交通費を支給

※金額は変動の可能性あり